

授業の概要

ヒトの重要な基本的行動の中には、活動源としての栄養摂取という観点から咀嚼機能を上げることが出来る。本教科では、咀嚼機能の基礎知識を学び、その知識を踏まえ咬合や下顎運動の在り方・咬合と下顎運動との関係・機能に障害を及ぼさない技工の在り方について理解する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 顎口腔機能学（医歯薬出版）
- 授業時間：木曜日（奇数日） 18：00～18：45
- オフィスアワー：秋田 大輔 (akita.daisuke10@nihon-u.ac.jp) 木曜日 17：00～17：45
- 成績評価：前期：定期試験（40%）、平常試験（10%）
後期：定期試験（40%）、平常試験（5%×2回）を総括して評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 授業方法：講義形式，第7回と第8回に平常試験と解説を行う。
- 準備学習：講義項目について教科書を読み，学習到達目標を理解しておく。
- 準備学習時間：講義時間と同等の時間の予習と復習を各自で行うこと。
- 実務経験：秋田 大輔：日本大学歯学部附属歯科病院における歯科医師の立場から口腔機能を司る補綴装置の製作理論を講義します。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回9月5日 秋田 大輔	1. 咬合器(1) (教) pp. 47-63	<ul style="list-style-type: none"> ・咬合器の分類を列挙できる。 ・咬合器による再現の原理を説明できる。
第2回9月19日 秋田 大輔	1. 咬合器(2) (教) pp. 47-63	<ul style="list-style-type: none"> ・咬合器の使用範囲と要件を説明できる。
第3回10月3日 秋田 大輔	2. 修復物の咬合(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウンブリッジ症例の咬合付与方法を説明できる。
第4回10月24日 (偶数日) 秋田 大輔	2. 修復物の咬合(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・修復物に対しての咬合付与方法を説明できる。
第5回11月7日 秋田 大輔	3. 有床義歯の咬合(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・局部床義歯に付与する咬合様式を列挙できる。 ・局部床義歯の咬合不調和の原因とそれに対する処置を説明できる。
第6回11月21日 秋田 大輔	3. 有床義歯の咬合(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・総義歯の咬合の特徴と咬合診断に基づいた対策を述べることができる。
第7回12月5日 秋田 大輔	後期まとめ 平常試験と解説	<ul style="list-style-type: none"> ・顎口腔機能学の総復習 ・第1回から第6回までの理解度を深め，疑問点が解決できる。

第8回 12月19日 秋田 大輔	前期後期まとめ 平常試験と解説	<ul style="list-style-type: none">・ 顎口腔機能学の総復習・ 前期，後期の授業を総覧し，理解度を確認できる。
---------------------	--------------------	--